

# autocult

データータムスタート

Sbarro Challenge I (スイス, 1985)

デザイナーと小さなシリーズ

Scale 1/43

#05035

available

01/2021

Limited edition 333 Stck.



## これ以上フラットになりません!

1971年、フランコ・スバーロはスイスでローラTのレプリカの製作を始めた。それとともに、彼はふとしたことからニッチ市場を発見し、自動車の歴史上重要なマイルストーンのレプリカのラインを作り続けていた。スバーロの各レプリカは、オリジナルのコピーであるだけでなく、時代精神にマッチしたオリジナルデザインに対する独自の解釈でもあった。彼の最も商業的に成功した車はBMW328レプリカだった。

1980年代半ば、スバーロはコンセプトカーとユニークなカスタムメイド車の生産に焦点を移した。同社は1985年、ジュネーブモーターショーで注目を集めた。展示スタンドでは、ジャーナリストや来場者は、今まで見たことのない非常にフラットな白い車に魅了されました。紛れもなくその魅力を放っていたのは、車の外観、つまり極端なくさび形でした。目を引いたのは、フロントフードからフロントガラスへのなめらかな傾斜でした。超フラットウェッジデザインには、屋根のいちばん高い所の縁に2つの翼が付けられた。ブレーキ時に両翼が立ち上

がり、ブレーキ効果をサポートした。フランコ・スバーロは、最高速度は時速310kmであると述べた。1980年代半ばの普通のドライバーにとってそれは想像を絶するスピードだった。この速度は、原則として5リッターV型8気筒エンジンのメルセデスベンツドライブブロックオプションと、2つのターボチャージャー、および380hpの出力によってのみ可能でした。第二に、わずか0.23のファーストクラスの抗力係数(一部の情報源では0.26とも言われています)が最高速度に大きく貢献しました。これは、自動車のファーストクラスの抗力係数としてあえて言う必要がないほどすごい係数であった。

「チャレンジI」と名付けられた展示モデルに加えて、1986年(チャレンジII)、1987年(チャレンジIII)、1988年(チャレンジIIIの進化版)のコンセプトカーが登場しました。1985年から1988年にかけて合計10台が作成されました。

AutoCult GmbH  
Äußere Further Straße 3  
90530 Wendelstein  
Germany

電話番号 +49 / 9129 / 296 4280  
ファックス +49 / 9129 / 296 4281  
info@autocult.de

www.autocult-models.de